



2015年3月期 決算説明会資料



2015年5月15日
リンテック株式会社

2015年3月期 連結業績の概要①

	'15/3月期 累計	'14/3月期 累計	増減 (増減率)
--	---------------	---------------	-------------

(単位:百万円)

売上高	207,255	203,242	4,013 (2.0%)
-----	---------	---------	-----------------

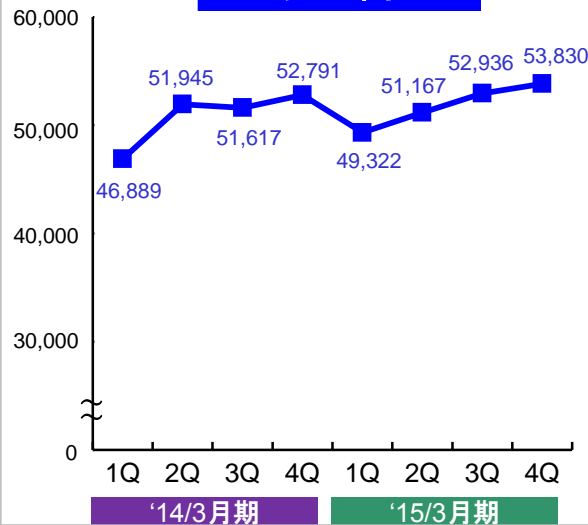
営業利益	16,881	13,766	3,115 (22.6%)
------	--------	--------	------------------

経常利益	17,901	13,165	4,736 (36.0%)
------	--------	--------	------------------

当期純利益	11,659	8,501	3,158 (37.1%)
-------	--------	-------	------------------

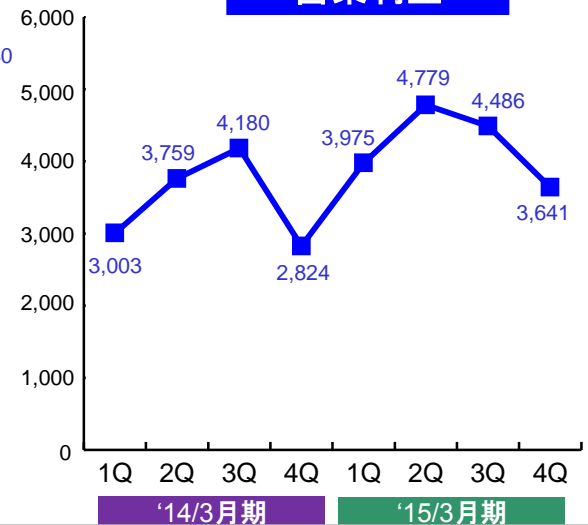
(単位:百万円)

売上高



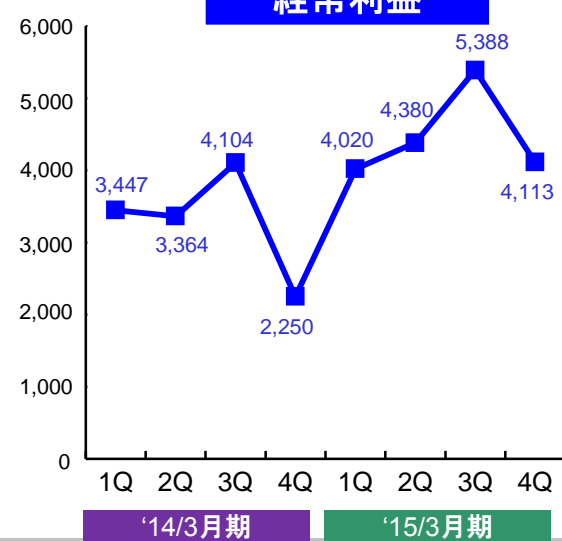
(単位:百万円)

営業利益



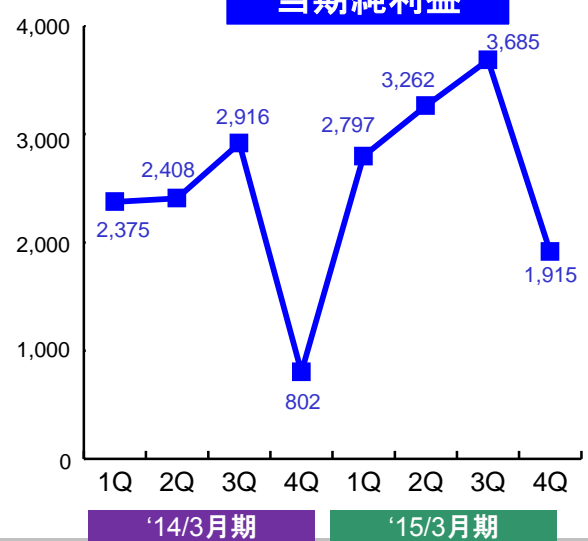
(単位:百万円)

経常利益



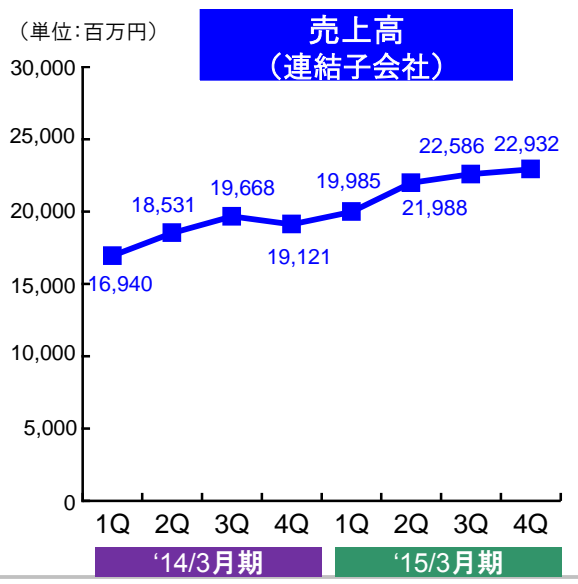
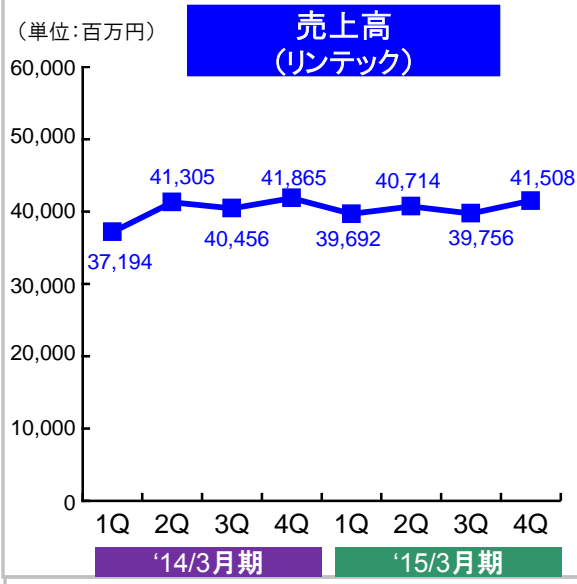
(単位:百万円)

当期純利益

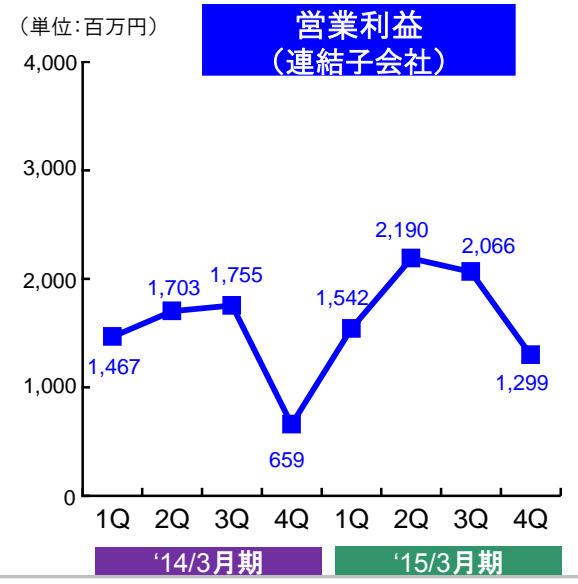
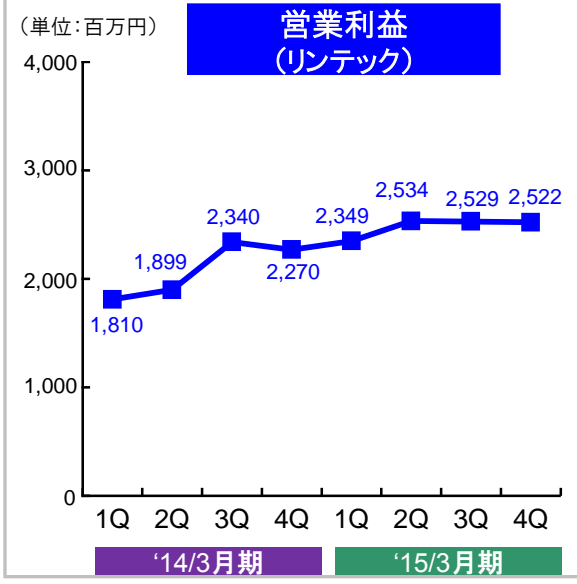


2015年3月期 連結業績の概要②

	'15/3月期 累計	'14/3月期 累計	増減 (増減率)
売上高			(単位:百万円)
リンテック	161,670	160,820	850 (0.5%)
連結子会社	87,491	74,260	13,231 (17.8%)
消去	▲41,906	▲31,838	▲10,068
計	207,255	203,242	4,013 (2.0%)



	'15/3月期 累計	'14/3月期 累計	増減 (増減率)
営業利益			(単位:百万円)
リンテック	9,934	8,319	1,615 (19.4%)
連結子会社	7,097	5,584	1,513 (27.1%)
消去	▲150	▲137	▲13
計	16,881	13,766	3,115 (22.6%)



➤ 売上高 …連結ベースでの円安による増加影響額 約44億円

● リンテック単体

消費増税以降の個人消費の落ち込みが一部製品の需要に影響

スマートフォンなどの需要効果などで、*Advanced Materials* 事業部門が伸長

● 連結子会社

インドやアセアン地域で、印刷・情報材事業部門、産業工材事業部門が堅調

台湾、韓国などで半導体関連粘着テープが大幅に伸長

MLCC用コートフィルムが順調に推移

リンテックシンガポールの販売子会社9社を連結子会社としたことにより約53億円増加も

連結消去後の売上高への影響は軽微

➤ 営業利益 …連結ベースでの円安による増加影響額 約16億円

● リンテック単体

(増益要因)

販売数量の増加および売上構成の改善 約21億円

固定費の削減 約2億円

(減益要因)

円安などによるパルプや燃料の調達コストの上昇

約5億円

その他(販売費の増加など)

約2億円

● 連結子会社

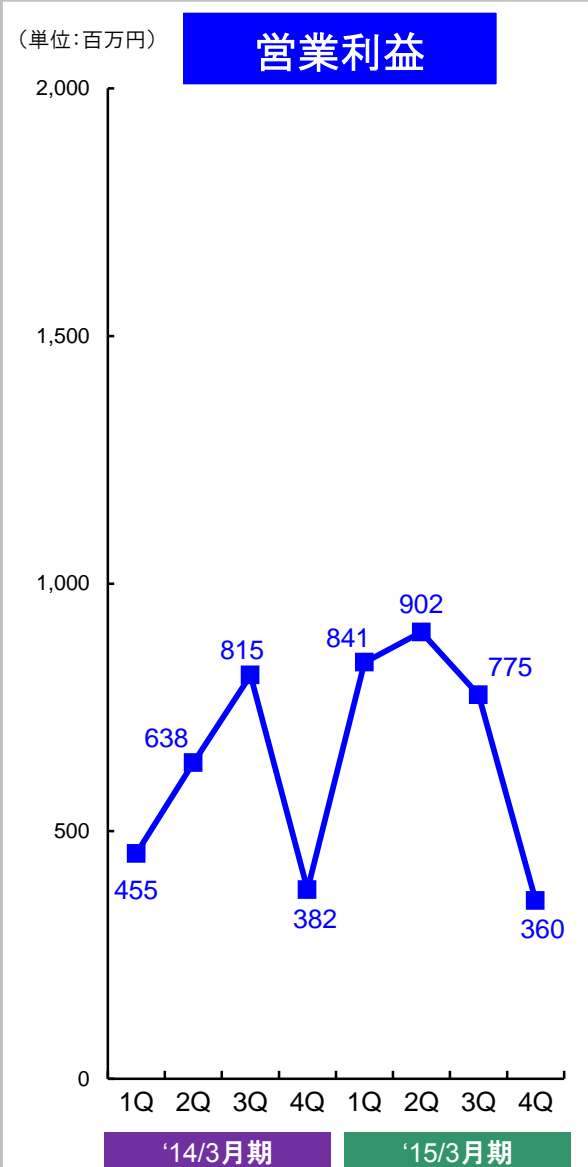
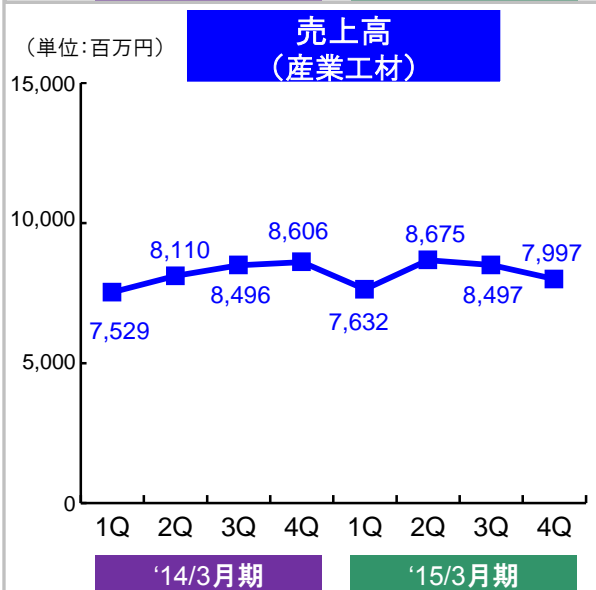
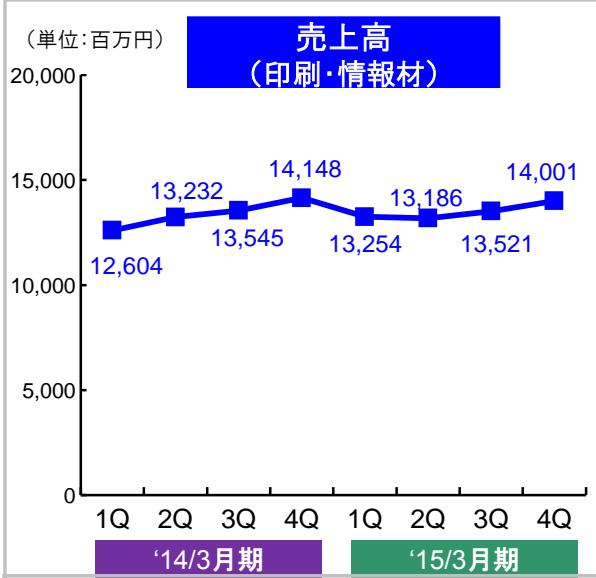
- ・販売数量の増加による増益
- ・円安による単体および日本メーカーからの仕入コストダウン
- ・円安による円貨換算額の押し上げ効果

【期中平均為替レート(実績)】

	(2014/3)		(2015/3)
円/US\$	97.99	→	106.46
円/1-円	130.56	→	140.35
円/WON	0.0898	→	0.1013
円/中国元	15.97	→	17.26
円/台湾\$	3.30	→	3.50

2015年3月期 印刷材・産業工材関連の概要①

	'15/3月期 累計	'14/3月期 累計	増減 (増減率)
(単位:百万円)			
印刷・情報材 事業部門	53,962	53,529	433 (0.8%)
産業工材 事業部門	32,801	32,741	60 (0.2%)
売上高 合計	86,764	86,271	493 (0.6%)
営業利益	2,878	2,290	588 (25.6%)



➤ 印刷・情報材事業部門

国内：食品用、家電用を中心に消費増税後の需要の落ち込みの影響を受け低調

海外：タイ、ベトナムを中心にアセアン地域で伸長

➤ 産業工材事業部門

国内：ウインドーフィルムやマーキングフィルムが低調

海外：二輪を含む自動車用粘着製品がインドやアセアン地域で堅調

2015年3月期 電子・光学関連の概要①

	'15/3月期 累計	'14/3月期 累計	増減 (増減率)
--	---------------	---------------	-------------

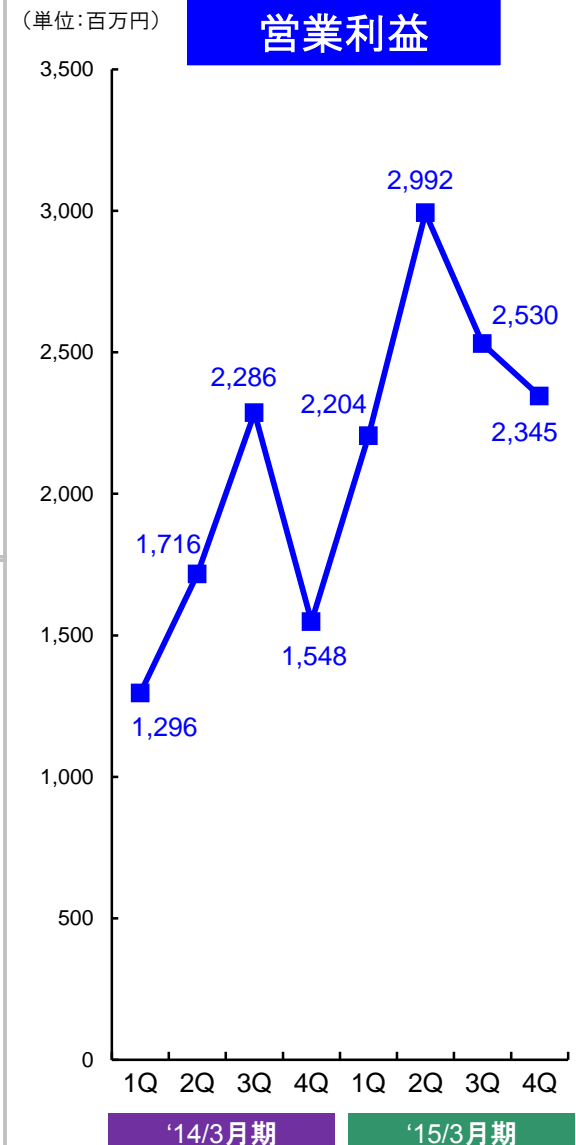
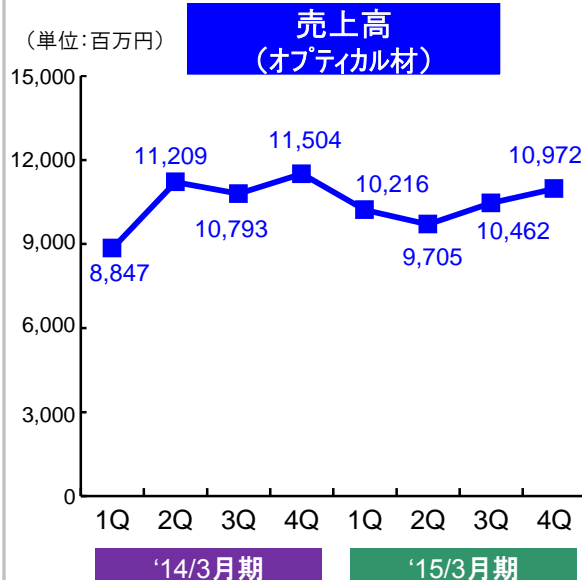
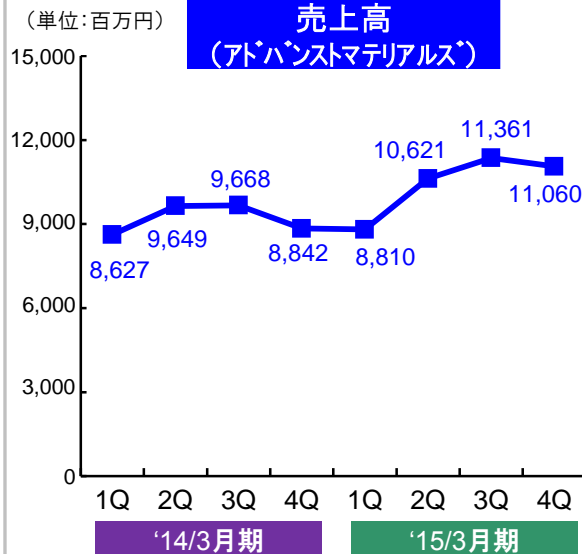
(単位:百万円)

アドバンス マテリアルズ 事業部門	41,852	36,786	5,066 (13.8%)
-------------------------	--------	--------	------------------

オプティカル材 事業部門	41,355	42,353	▲998 (▲2.4%)
-----------------	--------	--------	-----------------

売上高 合計	83,207	79,139	4,068 (5.1%)
-----------	--------	--------	-----------------

営業利益	10,071	6,846	3,225 (47.1%)
------	--------	-------	------------------



➤ アドバンスドマテリアルズ事業部門

半導体関連粘着テープ：スマートフォンなどの需要効果により大幅に伸長

半導体関連装置：台湾市場を中心に好調に推移

M L C C用コートフィルム：スマートフォンや自動車用などの需要効果により大幅に伸長

➤ オプティカル材事業部門

液晶ディスプレイ関連粘着製品：

テレビの大型化による需要増、スマートフォンなどの需要効果もあり販売数量は大幅に増加
単体においてダイレクト塗工品からノンキャリア製品への移行によって売上高減少

2015年3月期 洋紙・加工材関連の概要①

	'15/3月期 累計	'14/3月期 累計	増減 (増減率)
--	---------------	---------------	-------------

(単位:百万円)

洋紙 事業部門	16,388	16,127	261 (1.6%)
------------	--------	--------	---------------

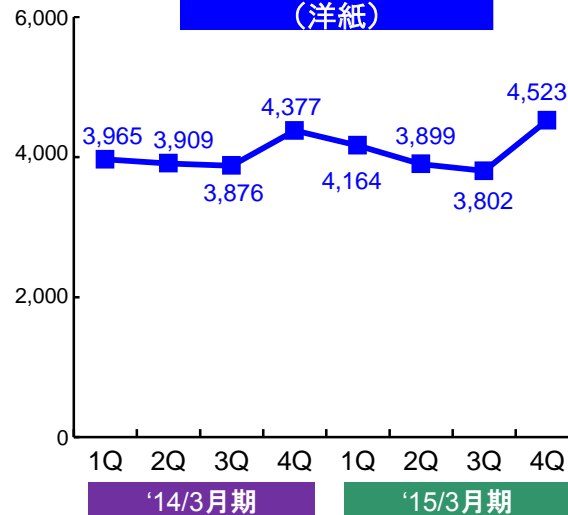
加工材 事業部門	20,894	21,703	▲809 (▲3.7%)
-------------	--------	--------	-----------------

売上高 合計	37,283	37,831	▲548 (▲1.4%)
-----------	--------	--------	-----------------

営業利益	3,996	4,645	▲649 (▲14.0%)
------	-------	-------	------------------

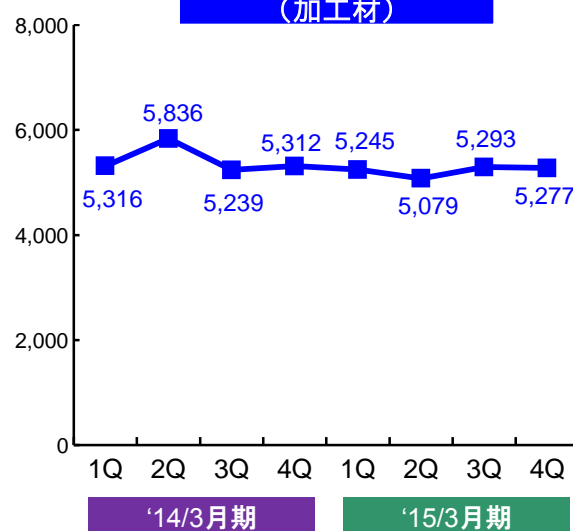
(単位:百万円)

売上高 (洋紙)



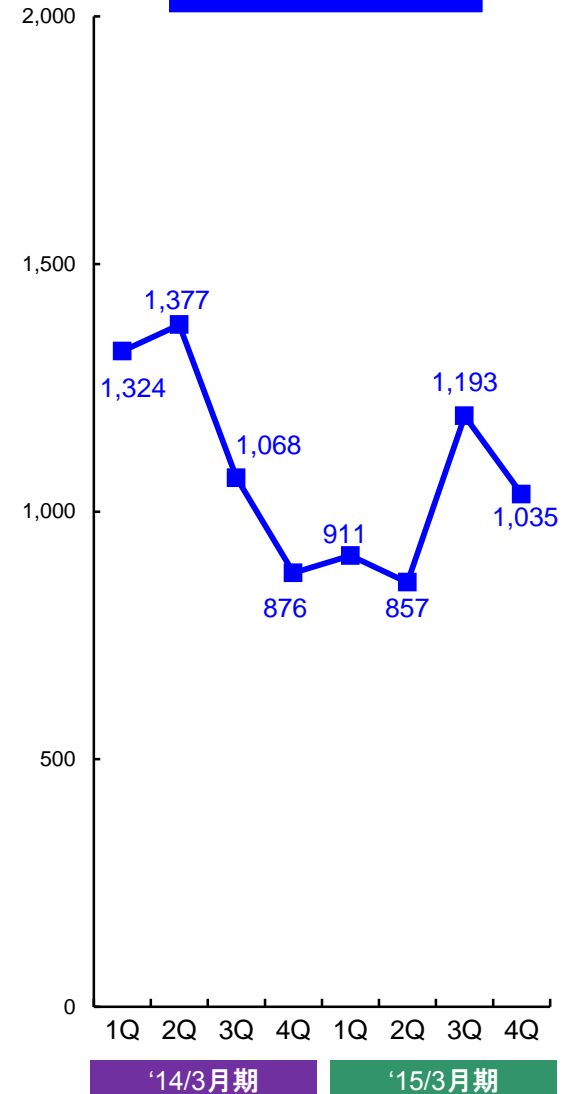
(単位:百万円)

売上高 (加工材)



(単位:百万円)

営業利益



➤ 洋紙事業部門

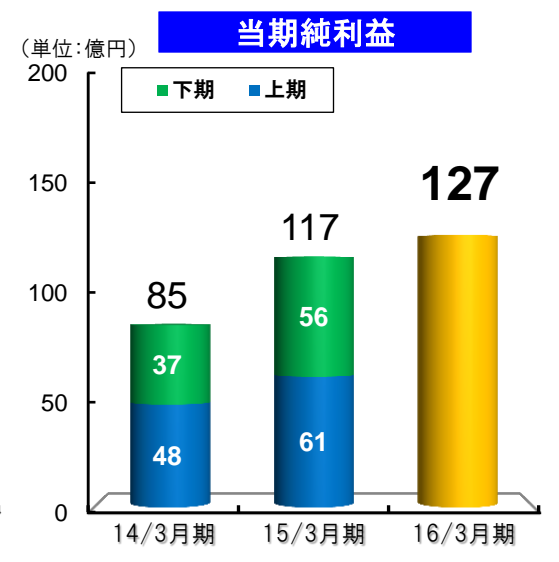
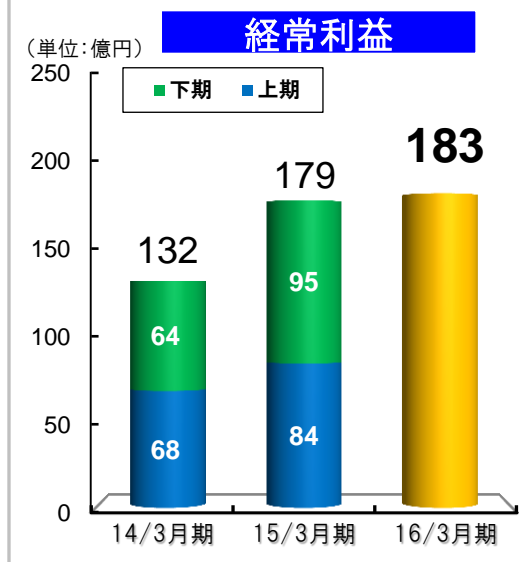
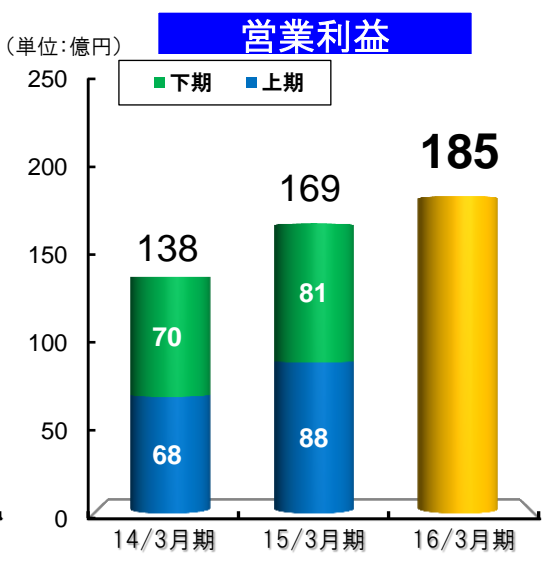
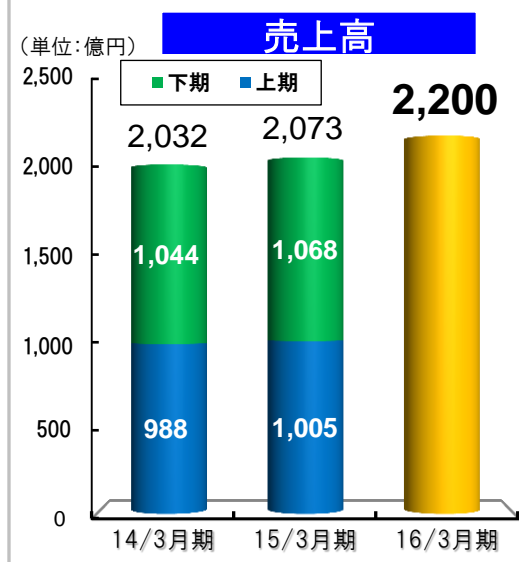
主力のカラー封筒用紙が堅調に推移
建材用紙や耐油紙などの需要増加

➤ 加工材事業部門

炭素繊維複合材料用工程紙が航空機用を中心に伸長
FPCカバーレイ用剥離紙が海外で需要増加
合成皮革用工程紙が主要市場である中国国内の市況低迷の影響を受け減少

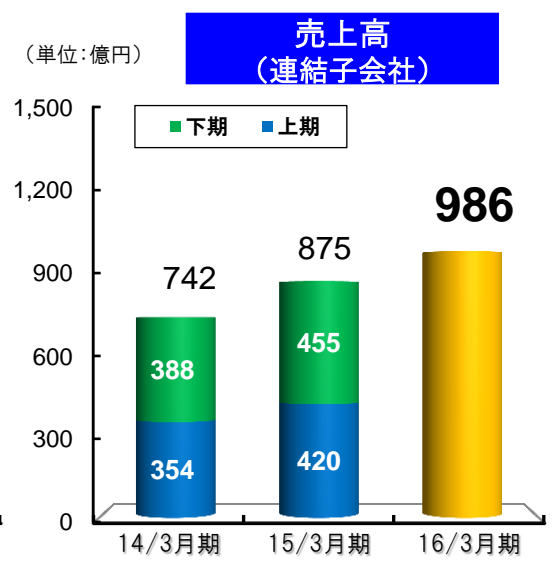
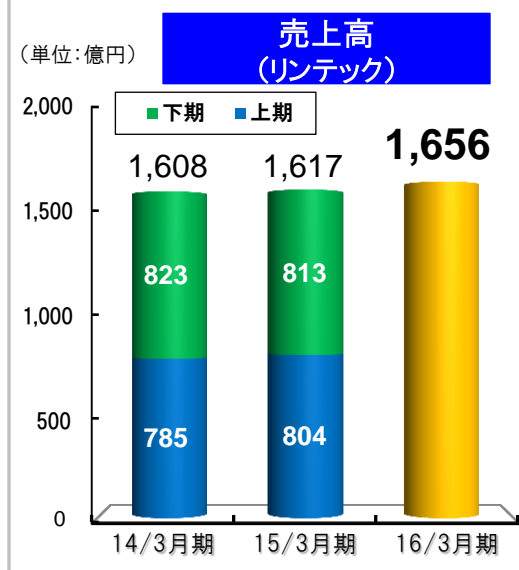
2016年3月期 連結業績の見通し①

	'16/3月期 見通し	'15/3月期 実績	増減	増減率
(単位: 億円)				
売上高	2,200	2,073	127	6.1%
営業利益	185	169	16	9.6%
経常利益	183	179	4	2.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	127	117	10	8.9%

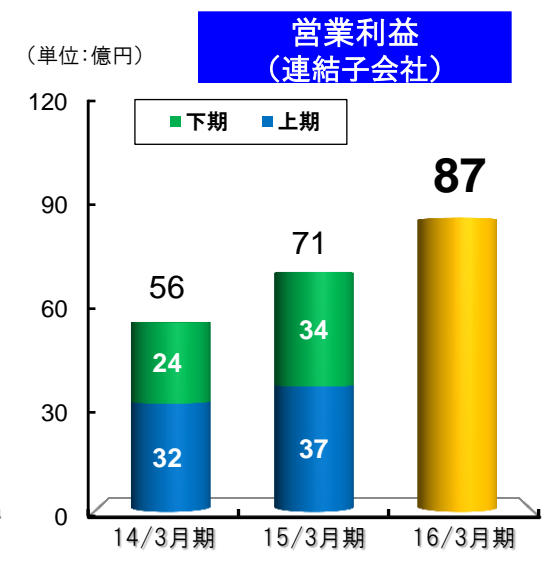
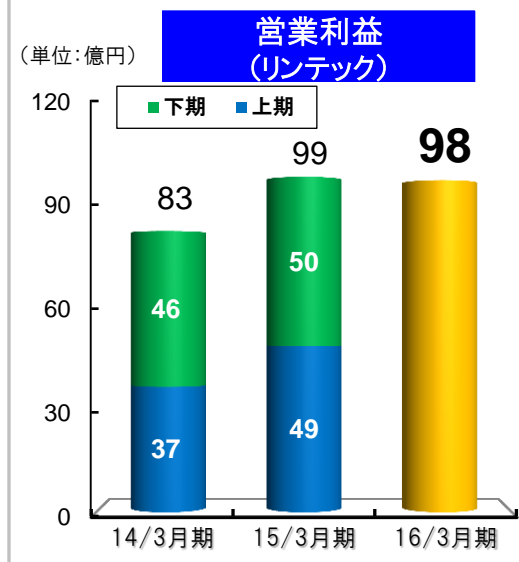


2016年3月期 連結業績の見通し②

	'16/3月期 見通し	'15/3月期 実績	増減	増減率
売上高				
	(単位: 億円)			
リンテック	1,656	1,617	39	2.4%
連結子会社	986	875	111	12.7%
消去	▲442	▲419	▲23	—
計	2,200	2,073	127	6.1%

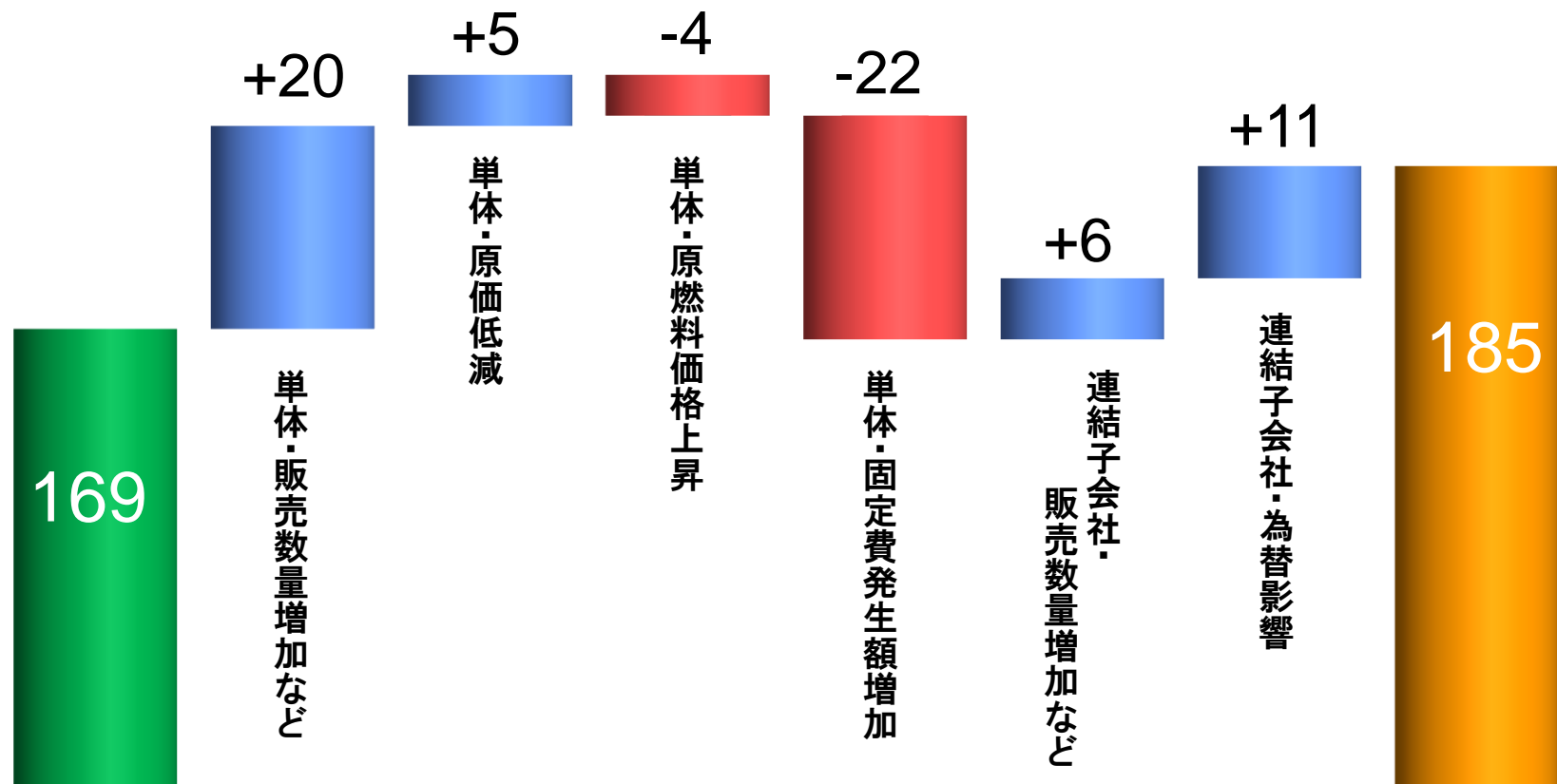


	'16/3月期 見通し	'15/3月期 実績	増減	増減率
営業利益				
	(単位: 億円)			
リンテック	98	99	▲1	▲1.0%
連結子会社	87	71	16	22.5%
消去	0	▲1	1	—
計	185	169	16	9.6%



【連結ベースでの円安による増加影響額 約11億円】

(単位:億円)



15/3月期
実績

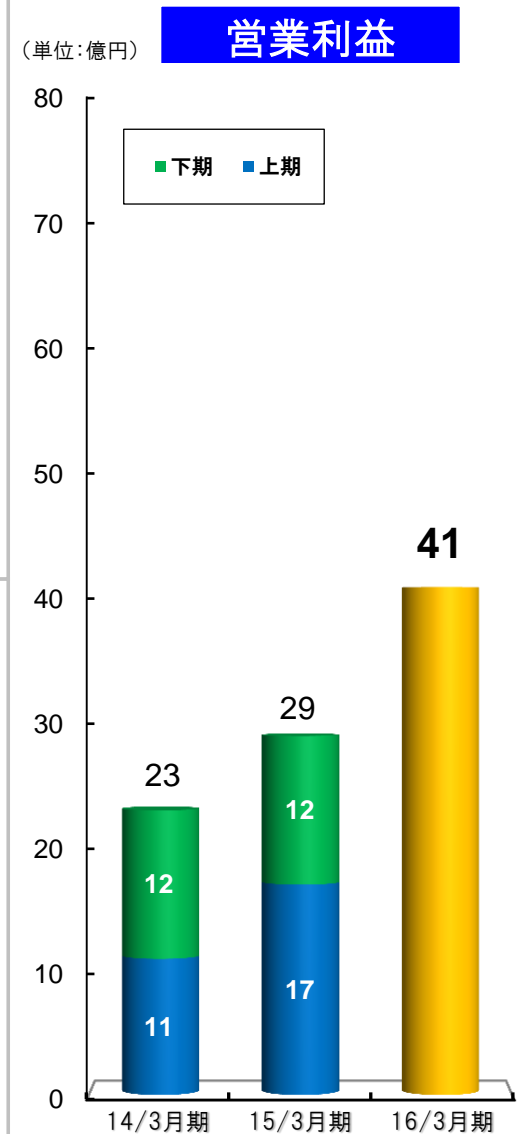
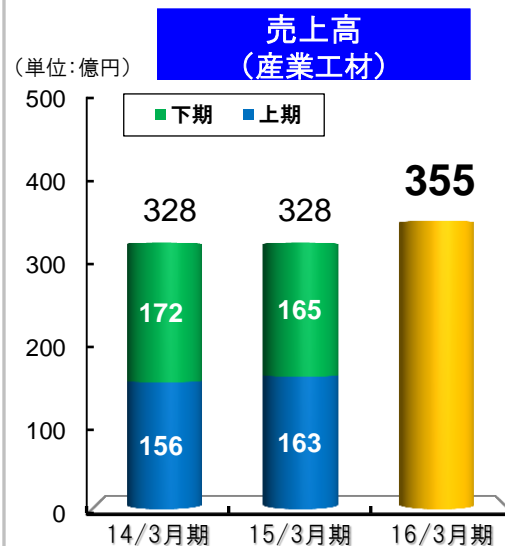
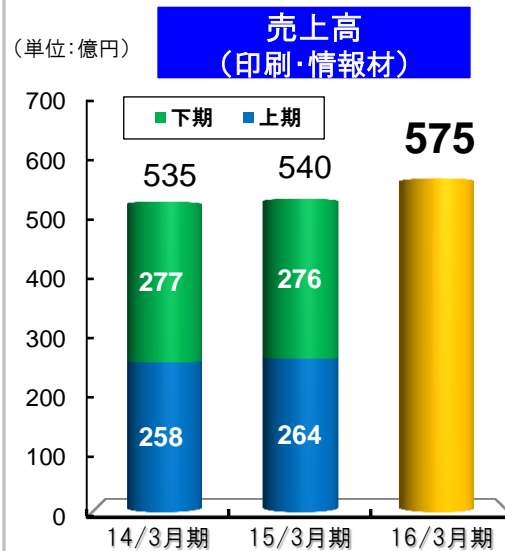
【為替レート】

	(2015/3 実績)		(2016/3 想定)
円/US\$	106.46	→	115.00
円/ユーロ	140.35	→	126.80
円/WON	0.1013	→	0.1080
円/中国元	17.26	→	18.90
円/台湾\$	3.50	→	3.80

16/3月期
見通し

2016年3月期 印刷材・産業工材関連の見通し①

	'16/3月期 見通し	'15/3月期 実績	増減	増減率
(単位:億円)				
印刷・情報材 事業部門	575	540	35	6.5%
産業工材 事業部門	355	328	27	8.2%
売上高 合計	930	868	62	7.1%
営業利益	41	29	12	41.4%



➤ 印刷・情報材事業部門

国内：新規採用と個人消費の回復による需要の増加を期待

海外：中国での拡販とインド、アセアン地域での市場の深耕を進める

➤ 産業工材事業部門

ウインドーフィルム：マディコ社との協業と連携を強化し、国内およびアジア地域での
販売網の拡大を図る

自動車用・工業用粘着製品：国内外で市場の拡大を見込むとともに新製品投入により
売り上げの増加を図る

2016年3月期 電子・光学関連の見通し①

	'16/3月期 見通し	'15/3月期 実績	増減	増減率
--	----------------	---------------	----	-----

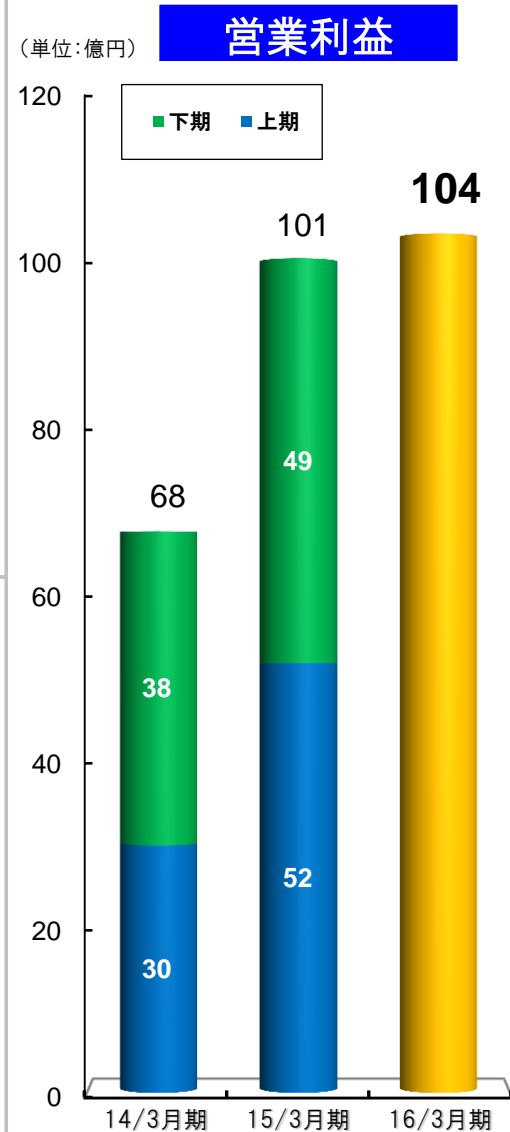
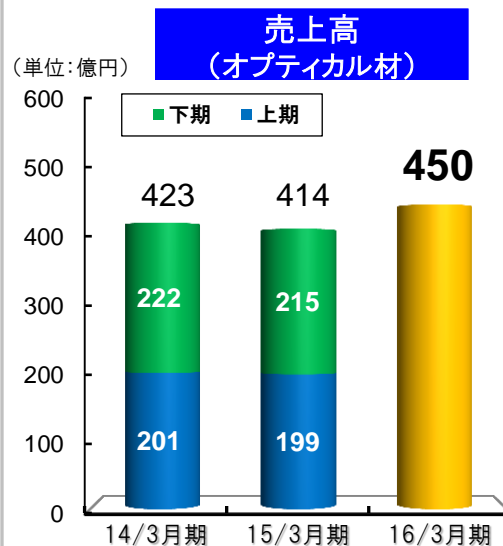
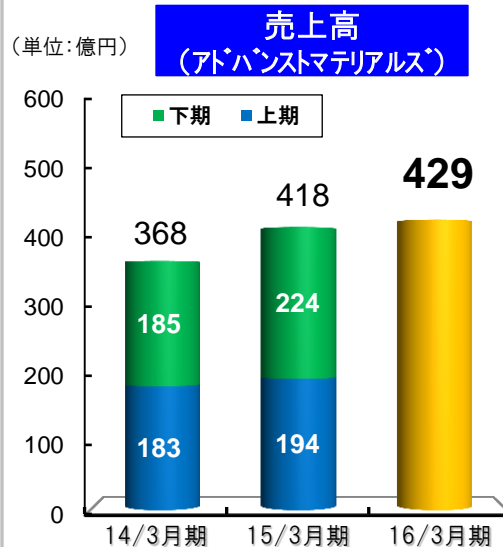
(単位:億円)

アドバンス マテリアルス 事業部門	429	418	11	2.6%
-------------------------	-----	-----	----	------

オプティカル材 事業部門	450	414	36	8.7%
-----------------	-----	-----	----	------

売上高 合計	879	832	47	5.6%
-----------	-----	-----	----	------

営業利益	104	101	3	3.0%
------	-----	-----	---	------



➤ アドバンスドマテリアルズ事業部門

半導体関連粘着テープ：スマートフォンなどの市場拡大により引き続き伸長

MLCC用コートフィルム：スマートフォンや自動車用などにおいてハイエンド商品の
需要拡大に牽引され順調に推移

➤ オプティカル材事業部門

テレビの大型化による需要増加やスマートフォン関連の市場の成長を取り込む

2016年3月期 洋紙・加工材関連の見通し①

	'16/3月期 見通し	'15/3月期 実績	増減	増減率
--	----------------	---------------	----	-----

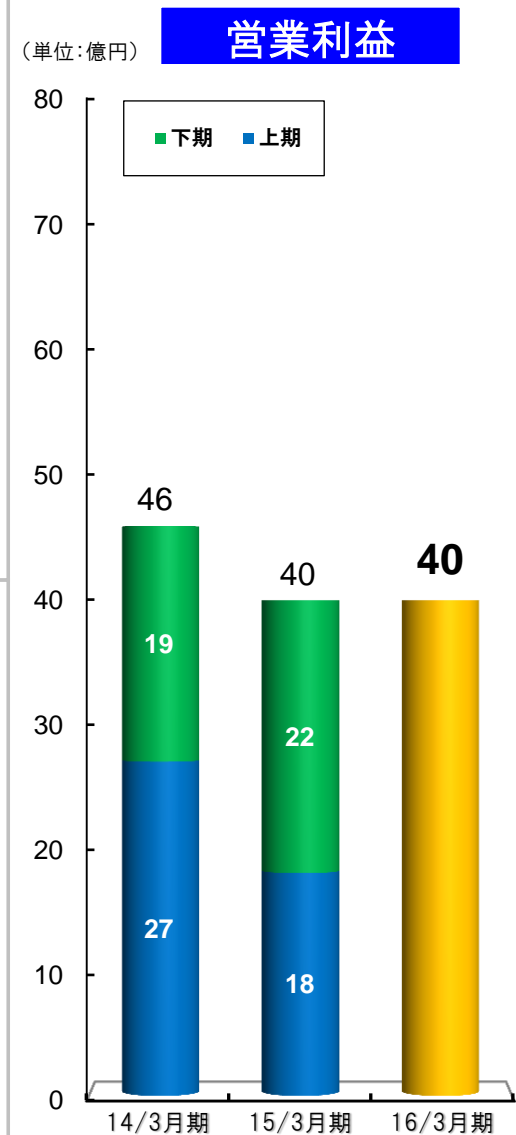
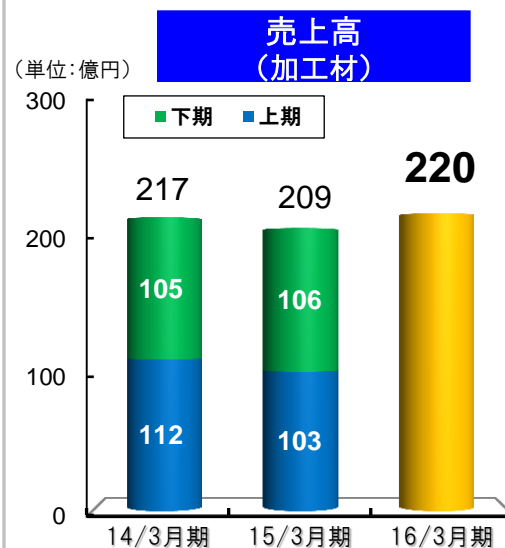
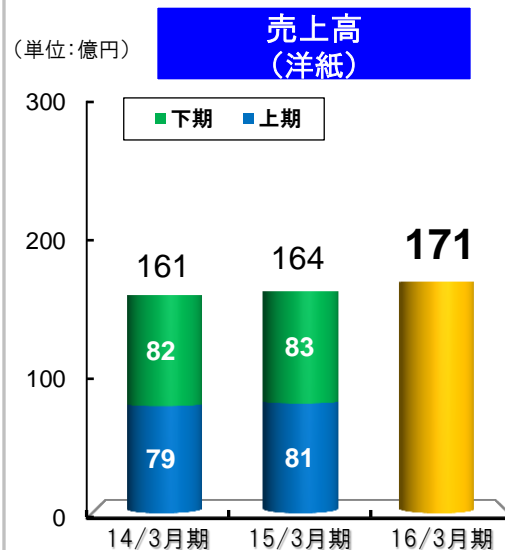
(単位:億円)

洋紙 事業部門	171	164	7	4.3%
------------	-----	-----	---	------

加工材 事業部門	220	209	11	5.3%
-------------	-----	-----	----	------

売上高 合計	391	373	18	4.8%
-----------	-----	-----	----	------

営業利益	40	40	0	0.0%
------	----	----	---	------



➤ 洋紙事業部門

隠ぺい性を付与した封筒用紙や耐油紙の拡販に注力していくことで伸長を見込む

➤ 加工材事業部門

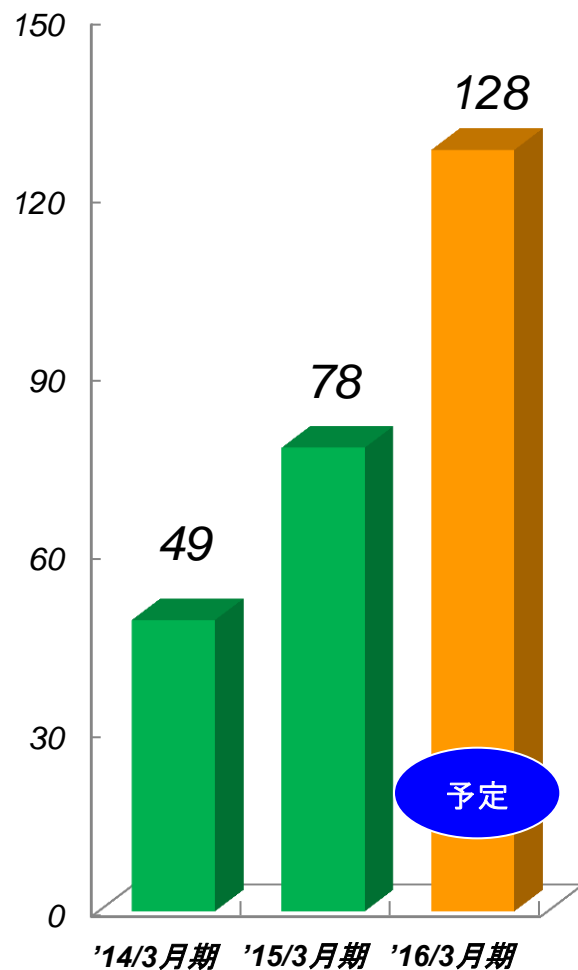
炭素繊維複合材料用工程紙：航空機用を中心に増加を見込む

FPCカバーレイ用剥離紙、合成皮革用工程紙：コスト競争力を高め海外市場での拡販を目指す

2016年3月期 設備投資額・減価償却費・研究開発費の概要および見通し

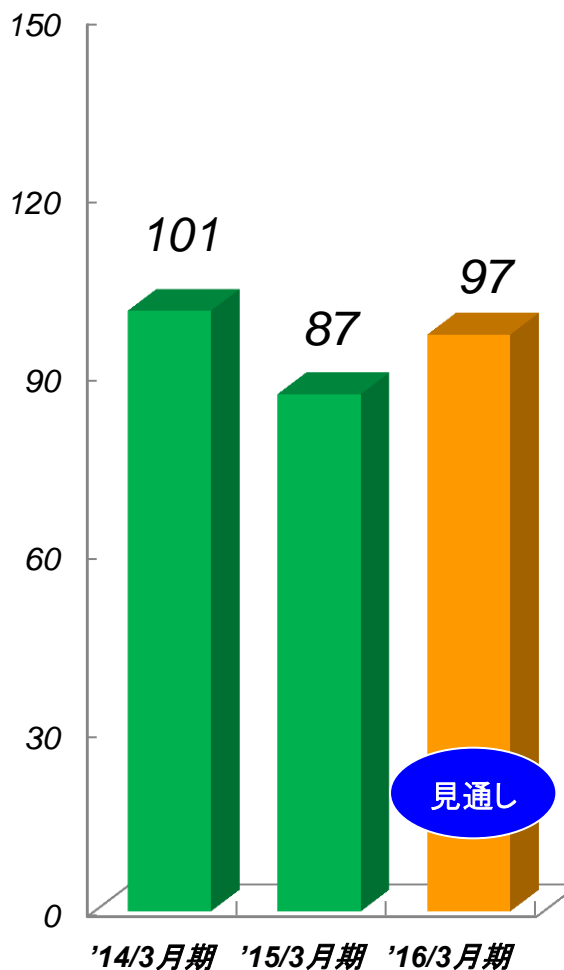
設備投資額

(単位:億円)



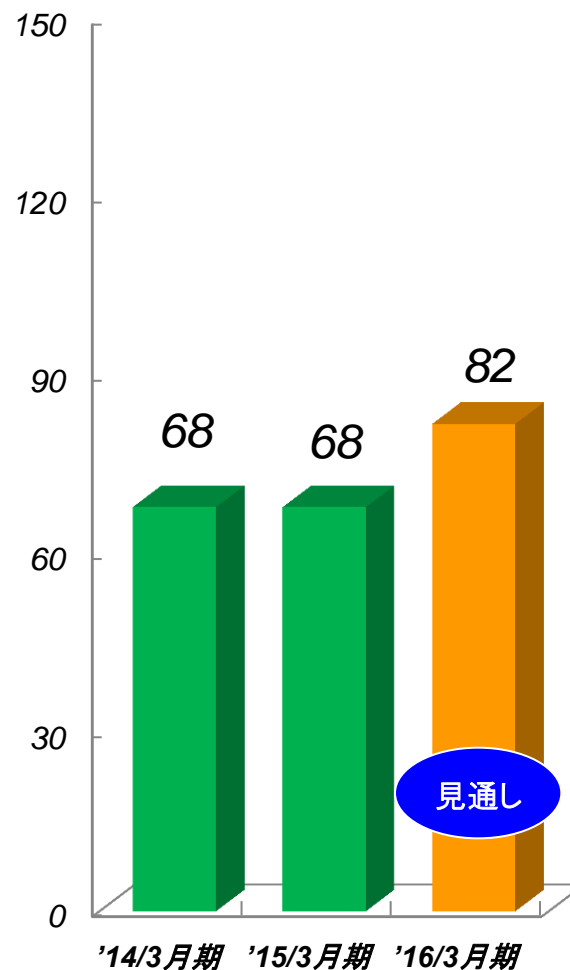
減価償却費

(単位:億円)



研究開発費

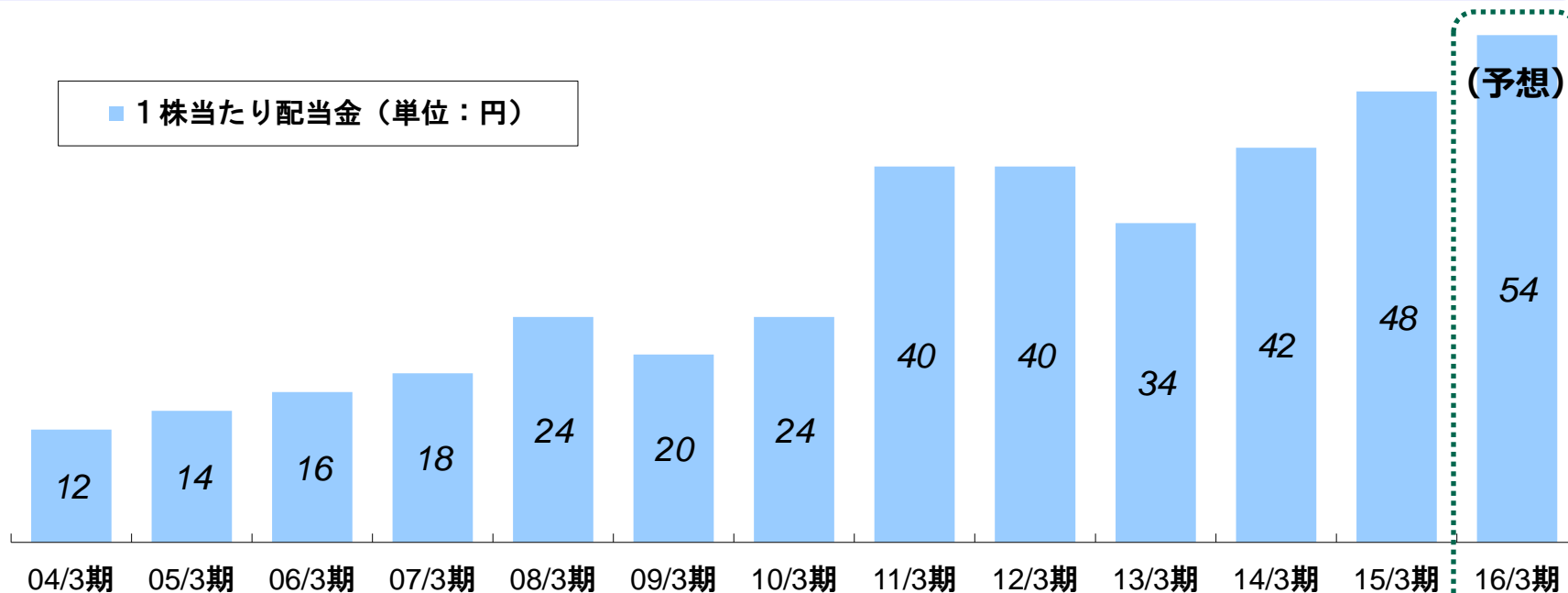
(単位:億円)



(基本方針)

当社は株主への利益還元の充実を経営上の最重要課題の一つと位置づけており、利益配分につきましては、経営基盤の強化を図りつつ、各事業年度の連結業績を勘案し、安定的かつ継続的な配当を行っていくことを基本といたします。内部留保資金につきましては、財務基盤の強化ならびに将来の企業価値向上のための生産設備や研究開発投資などに有効に活用してまいります。

■ 1株当たり配当金 (単位:円)



当期純利益(億円)	72.8	136.2	86.4	76.8	85.0	116.6	127.0
1株当たり当期純利益(円)	96.36	180.21	115.26	102.83	114.22	161.63	176.06
連結配当性向(%)	24.9	22.2	34.7	33.1	36.8	29.7	30.7

ご清聴ありがとうございました

本資料の内容に関する注意

本資料に記載された計画や予測等は、資料作成時点での様々な前提に基づいた弊社の判断であり、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。また、今後、予告なしに変更されることがあります。